



発行
大田区スポーツ推進課
東京オリンピック・
パラリンピック推進担当
☎ 5744-1189
FAX 5744-1539



ホームページ
大田区オリンピックで検索

ぼくたち わたしたちの あおた 活動新聞 オリンピック・パラリンピックを 知ろう! 学ぼう!

「おおた ぼくたち わたしたちの 活動新聞」は、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた、みんなの学校の様々な取り組みを紹介します。みんなの住おまち・東京で開催されるオリンピック・パラリンピックを友だち、先生、家族、地域のみなさんといっしょに知って学び、心にとこる大会にしましょ!

区ゆかりの選手たちはさまざまな大会で素晴らしい成績を残しています。日本代表として大会に出場できるようみんなて応援しよう!

東京2020大会
出場に向けて
大田区ゆかりの選手が活躍中!!



のしに 製斗谷 さくら 新体操
1997年生まれ 山王小学校、大森第三中学校出身
【競技を始めたきっかけ】
友人のお母さんに勧められて。
【東京2020大会出場に向けて】
自分を信じ、仲間を信じ、最高の演技をして笑顔で踊り切りたいと思います。その先にメダル獲得という結果がついてくるよう、日頃の練習を積み重ねてがんばります。

東京2020パラリンピック内定



ただ ちあき パラ陸上競技・視覚障害T11クラス走り幅跳び
1984年生まれ 萩中小学校出身
【競技を始めたきっかけ】
それまで様々なスポーツを楽しんできたのに、視力を失いスポーツができない現実の中、また何かしたいと思った時、一番初めに浮かんだのが小さい時一番好きだった風を切って全力で走ることでした。

【東京2020大会出場に向けて】
走り幅跳びで5mを超える記録を出し、表彰台の一番上へのぼって金メダルを首にかけてもらうことが目標です!



もとはし なこ 本橋 菜子 バスケットボール
1993年生まれ 東京羽田ヴィッキーズ所属、大田区在住
【競技を始めたきっかけ】
姉が始めたことがきっかけで、一緒にやり始めました。
【東京2020大会出場に向けて】
まずは、最終メンバーに残り、オリンピックに出場することが一番の目標です。残りの限られた時間の中でしっかり最高の準備をして、最高の結果を残せるようがんばります!!



おおたき けんたろう 大滝 健太郎 パラ射撃
1983年生まれ 大田区在住
【競技を始めたきっかけ】
大学時代に射撃競技と射撃部の存在を知り、障害があっても挑戦できるスポーツだと興味を持ち始めました。
【東京2020大会出場に向けて】
射撃は老若男女楽しめるスポーツです。そんな射撃の魅力をさらに知ってもらえるように東京2020大会への出場を目指します!



わこう ゆうた パラ陸上競技・視覚障害F12クラスやり投げ
1997年生まれ 大森第四小学校、大森第一中学校出身
【競技を始めたきっかけ】
空手と野球で培った経験をもとにつかのパラスポーツを体験した中で、やり投げに出会いました。
【東京2020大会出場に向けて】
約2年前の大学2年の秋に視覚障害を発症しました。私が元気に前を向いて取り組んでいる姿を見て、勇気や元気、感動を与えられるようがんばります!

大田区開催競技 ホッケー さくらジャパン サムライジャパンを応援しよう!

ピンクのユニフォームが印象的な女子日本代表の「さくらジャパン」。オーストラリア出身のファリー監督のもと、着実に力をつけています。2018アジア大会で優勝し、5大会連続でオリンピックに出場します。上位進出に期待がかかります。



まの ゆかり 真野 由佳梨選手 1994年生まれ
東京2020大会に向けて
日本で開催される東京2020オリンピックは、注目度もかける思いも特別な大会です。2020年の東京オリンピックではチーム全員で金メダルを獲得し、ホッケーの楽しさを日本中に広めたいと思います。

「サムライジャパン」の愛称で知られる男子日本代表。オランダ出身のアイクマン監督のもと、積極的な海外遠征などで力をつけてきました。2018アジア大会では見事優勝! 1968年のメキシコ大会以来、52年ぶりにオリンピックに出場します。



ふらた かずま 村田 和麻選手 1991年生まれ
東京2020大会に向けて
目指すは金メダル!東京2020オリンピックという大舞台で最高のパフォーマンスができるようがんばります。そしてたくさんの方に夢や感動を与えられるような選手でありたいと思います。



歓迎セレモニー
11月20日水

11月20日、青少年交流センター「ゆいっつ」で歓迎セレモニーが行われました。セレモニーのあとには、和太鼓の演奏、お茶や浴衣の着付けなど日本文化を体験。厳しい練習の合間に楽しい時間を過ごしました。



大田区はブラジルのホストタウン

昨年11月、ブラジル代表女子ハンドボールチームが大田区で合宿を行いました。



女子ハンドボールチームがやってきた!

公開練習
11月22日金
26日火
27日水



11月22日、26日、27日には、東京2020大会の直前にキャンプを行う大森スポーツセンターで公開練習があり、多くの区民が練習を見学しました。



学校訪問
11月22日金

11月22日、大森スポーツセンターに一番近い大森第五小学校を訪問し、4年生の児童と交流しました。選手たちは、児童から大森地域に伝わる民謡「大森甚句」を習い、一緒に踊ったり、日本の伝統的な遊びのけん玉やお手玉、折り紙を体験しました。



大田区 事前キャンプ 受入競技・場所

ホストタウンってなに?

東京2020大会に向け、大会の参加国や地域と、人・経済・文化などの交流を行う地方公共団体のことだ。大田区はブラジルのホストタウンとして様々な交流をし、ブラジル選手団の活躍を応援しているよ。

※ 2019年12月27日現在、国内で378の地方公共団体がホストタウンとして登録されている。

中富小学校 11/8 (金)

長年ブラジルで仕事をしてきた方からブラジルという国についての講義を聞いたあと、ブラジル人の先生からポルトガル語の挨拶を教えてもらいました。最後に全校児童で合唱のプレゼントをしました。

志茂田小学校 1/30 (木)

ユネスコの無形文化遺産に登録されている格闘技と音楽、ダンスが合わさったブラジルの伝統文化「カポエイラ」を体験。基本の動きや攻撃・避けの動きを教えてもらいました。模範演技のスピードと迫力にみんなびっくりにしていました。

ブラジルを知ろう!

矢口西小学校 2/8 (土)

日本をはじめ、本場ブラジルでも演奏活動を行っているバラサが、ブラジル特有の音楽「サンバ」を全校児童の前で披露しました。思わず踊りだしたくなるようなサンバのリズムに、体を動かしたり、手拍子で盛り上がりました。

馬込中学校 2/12 (木)

駐日ブラジル連邦共和国大使館を訪問しました。ポルトガル語の挨拶やブラジルの歴史や食、観光や文化について大使館の職員の方から講義を受けたあと、ブラジルの伝統文化「カポエイラ」を体験しました。

オリンピック聖火リレーが大田区にやってくる!!

オリンピック聖火リレーとは?

ギリシャのオリンピアで、太陽光を鏡で集めておこした炎を、ギリシャ国内と開催国の日本でリレーによって開会式までつなげるものです。全国47都道府県をまわったオリンピック聖火は、開会式当日に、最終ランナーによってメインスタジアムの聖火台にとりまわされ、大会が終わるまでともし続けられます。

聖火リレールート紹介

3月26日に福島県を出発したオリンピック聖火は、いよいよ7月22日(水)に大田区にやってきます。大森ふるさとの浜辺公園では聖火の到着を祝うイベントを行なったあと、午後3時40分に大田区役所に向けて出発します。

START! 大森ふるさとの浜辺公園 (大森ふるさとの浜辺公園)

FINISH! 大田区役所

午後3時40分 スタート

午後4時54分ゴール(予定)

大田区総合体育館

大田区役所